

## 公の施設指定管理者実績報告(平成22年度)の調査結果について

笠間市行財政改革大綱における主要施策の中で、行政運営の効率化や市民サービスの向上を図るため、民間委託等の実施により効果が期待できる事務事業については、積極的かつ計画的に民間委託や指定管理者制度の活用を推進することとしています。

この大綱に基づき、指定管理者制度の導入を推進し、平成23年4月現在で、笠間市における公の施設(85施設・給食センター含む)のうち、20施設について指定管理者制度を導入して管理運営を行っています。

この報告は、指定管理者から施設所管課へ提出された平成22年度事業報告書等に基づき、施設所管課で作成された指定管理者実績報告書を取りまとめたものです。

### 1 調査の目的

指定管理者が行っている管理運営が、効果的・効率的であり、市民の利便性の向上が図られているかを点検することにより、今後の管理運営をより適正に継続させるとともに、施設の運営状況を公表することで、管理運営の透明性を確保することを目的としています。

### 2 実績報告の調査結果について

指定管理者導入方針の事業の評価に関する項目に基づいて、実績をまとめています。

#### (1) 運営状況に関すること【有効活用について】

- ・スポーツ施設については、芝生広場を芝の養生期間として閉鎖したこと、猛暑の影響で、テニスコート及び岩間総合運動公園の利用が減少したことから、利用者が減少する結果となりました。
- ・北山公園については、利用者がやや減少しましたが、平成20年度と比較すると高い水準を維持しているため、推移を注視していくこととします。
- ・笠間市いこいの家「はなさか」及び笠間クラインガルテン(農産物販売所)については、利用者の減少傾向が続いていることから、その分析と利用者増に向けた対策の必要があります。
- ・笠間工芸の丘については、夏以降の利用者が低調に推移したことから、利用者数が減少する結果となりました。
- ・笠間クラインガルテンについては、宿泊施設付き市民農園及び日帰り市民農園とも、平成21年度に続いて、全区画(各50区画)の利用が達成されました。
- ・駐車場施設については、利用者数の逡減傾向が続いています。
- ・福祉施設については、利用者数に大きな増減はありませんでした。
- ・スポーツ施設、北山公園、笠間市いこいの家「はなさか」、あたご天狗の森スカイロッジ、笠間クラインガルテン(農産物販売所、そば処)、笠間工芸の丘については、東日本大震災の影響による利用者の減少がありました。

#### (2) 事業収支に関すること【効率的運営について】

- ・スポーツ施設については、当初計画を上回る人件費の増加が影響し、赤字となりました。
- ・北山公園については、売店業務を自ら運営することにより、収入が増加しました。  
また、昨年度実施したコスト削減を目的とした省エネタイプの備品への交換等、コスト意識の高い取組の成果が表れました。
- ・笠間市いこいの家「はなさか」については、利用料収入が減少したことから、笠間工芸の丘については、高額商品の販売低迷や陶芸体験者数の減少により売上が減少したことから赤字となりました。
- ・笠間クラインガルテンについては、農産物販売所の収支は悪化したものの、農園施設等と農産物販売所及びそば処を併せた施設全体の収支が、初めて黒字となりました(施設全体を指定管理者制度により管理運営することとなった平成19年度以降において)。
- ・利用料金制度を導入している施設については、東日本大震災の影響を受けた収入の減少がありました。
- ・笠間市障害者福祉センターともべ、笠間市障害者福祉センターいわま及び笠間市福祉センター「い

わま」については、経費の削減により、年度協定締結時の指定管理料を、変更協定により減額しました。

### (3)業務実績に関すること【活動状況について】

- ・スポーツ施設については、各種大会や教室を開催し、スポーツ振興に寄与しました。
  - ・北山公園については、外部団体との協同主催によるホテルの鑑賞会を実施したところ、好評を得たため、今後も継続することとしました。
  - ・笠間市いこいの家「はなさか」については、東日本大震災時に一時避難所として利用され、公の施設として緊急時の役割を果たしました。
  - ・あたご天狗の森スカイロッジについては、各種宿泊プランや利用者向けサービスを企画・実施し、施設の稼働率、売上とも好調に推移しました。
  - ・笠間クラインガルテンについては、新たに多目的交流施設（トレーラーハウス）3棟の運営を開始しました。
- また、農園利用者と地域住民との交流や、外部団体と連携した事業を実施しました。
- ・東日本大震災に際しては、各施設において的確な判断のもと避難等の安全確保がなされました。

### (4)利用者の声に関すること【利用者の評価について】

- ・スポーツ施設では、利用者の要望等に対応したスポーツ教室を開催し、好評を得ました。
- ・北山公園では、利用者の声に対し、早急にできるものについては随時対応するとともに、期間を要するものについては、新たな指定期間（平成23年度からの5年間）において計画的に実施していくこととしました。
- ・笠間クラインガルテンでは、利用者との意見交換会を開催するなど直接利用者の声を収集し、要望等への対応がされました。
- ・福祉施設においては、利用者やその保護者との連絡を密にすることで、相談等を受け付け、随時適切な対応がされました。

## 3 参考（東日本大震災後の施設の状況について）

平成23年10月1日現在、笠間市民体育館を除いて通常どおり管理運営がされています。施設によっては、一部、使用不可の設備や立入禁止箇所・破損箇所がありますが、徐々に修繕等がなされている段階です。

笠間市民体育館については、平成23年度中に修繕及び耐震補強の実施設計がなされ、平成24年度に復旧工事を実施する予定です。

# 公の施設指定管理者実績調査結果(平成22年度実績)

施設 の 名 称	施設 所 管 課
①笠間市民体育館 ②笠間市岩間総合運動公園 ③笠間市笠間武道館 ④笠間市岩間海洋センター ⑤笠間市総合公園 ⑥石井街区公園	スポーツ振興課
	指 定 管 理 者
	(株) 日立ライフ (公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
市民の体育、スポーツの振興を図るとともに、スポーツ以外の各種行事等の利用促進を図ること。	平成20年4月1日から平成25年3月31日まで (平成20年4月1日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】					
区 分	21年度	22年度	前年度比	区 分	21年度	22年度	前年度比		
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)	
延利用者数	135,977人	122,599人	△9.8	(収入)					
市民球場	7,095人	7,720人	8.8	指定管理料	63,190,000	63,190,000	0	0	
多目的広場	5,474人	5,601人	2.3	利用料等	5,560,365	5,855,407	556,428	5.3	
芝生広場	6,980人	0人	△100.0	収 入 計	68,750,365	69,045,407	295,042	0.4	
テニスコート	9,734人	7,880人	△19.0	(支出)					
管理棟会議室	865人	952人	10.0	管理運営経費	68,306,338	70,848,886	4,894,319	7.7	
海洋センター	18,268人	18,839人	3.1	支 出 計	68,306,338	70,848,886	4,894,319	7.7	
海洋センタープール	2,272人	2,486人	9.4	収 支	444,027	△1,803,479	△2,247,506	△506.2	
岩間総合運動公園	21,129人	17,323人	△18.0	※利用料金制度導入					
市民体育館	47,503人	45,631人	△3.9						
笠間武道館	16,657人	16,167人	△2.9						

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者サービスの向上については、ゴミの無い施設環境に努めることができた。</li> <li>・公園施設の維持管理については、日常点検、定期点検を実施した。</li> <li>・修繕については、利用者の安全を最優先に実施した。</li> <li>・植栽維持管理については、芝の部分張替えを実施し、養生期間を設けて利用制限を行った。</li> <li>・スポーツに関する振興業務については、グラウンドゴルフ大会、ターゲットボードゴルフ大会を開催した。</li> <li>・災害時、緊急時の対応については、東日本大震災時に避難誘導をし、けが人を出さなかった。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室参加者の要望・意見が多数あった。 (開始時間に関する要望、継続開催要望、楽しかった旨の感想等) ⇒希望があった教室を新規に開催するなど、要望に沿うよう努めた。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成23年6月10日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理と安全確保に努め、適切な管理運営を実施している。</li> <li>・スポーツ教室のホームページでの周知等を検討すること。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間市総合公園外 5 施設		
施設所在地	笠間市箱田 8 6 7 番地 1 外		
施設概要	笠間市総合公園（市民球場，芝生スポーツ広場，多目的広場），笠間市民体育館，笠間武道館，石井街区公園，笠間市岩間海洋センター，笠間市岩間総合運動公園		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	125,407 人	135,977 人	122,599 人
年間稼動日数	305 日	305 日	305 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	63,540,000	63,190,000	63,190,000
利用料	3,519,700	3,711,930	3,748,997
事業収入	1,466,000	1,842,500	2,101,500
その他収入	18,237	5,935	4,910
収入計	68,543,937	68,750,365	69,045,407
人件費	21,677,765	21,365,648	26,064,535
消耗品費	752,825	1,356,839	1,168,549
燃料費	218,871	301,174	394,904
印刷製本費	155,190	153,615	90,825
光熱水費	9,340,561	8,491,150	9,958,998
修繕費	3,193,459	6,024,213	4,272,795
医薬材料費	32,666	10,961	0
役務費	814,215	824,735	807,338
植栽管理費	15,587,262	16,012,985	16,145,850
設備管理費	2,059,995	2,731,890	2,534,930
清掃管理費	2,829,960	2,850,435	2,817,045
使用料・賃借料	1,424,559	1,559,095	1,469,963
原材料費	1,045,380	777,000	102,900
備品購入費	185,405	587,748	208,950
その他の委託費	3,227,108	2,877,828	2,965,608
その他の経費	866,798	2,381,022	1,845,696
支出計	63,412,019	68,306,338	70,848,886
収支	5,131,918	444,027	-1,803,479

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑦北山公園	商工観光課
	指 定 管 理 者
	笠間市造園建設業協同組合（公募）
設 置 目 的	指 定 期 間
市民が自然に親しみつつ、観光レクリエーション及びスポーツ活動を行うこと。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	212,071 人 (1日平均594人) (※20年度 169,403人)	200,683 人 (1日平均593人)	△5.4	(収入)				
				指定管理料	15,600,000	15,600,000	0	0.0
				諸 収 入	727,652	1,684,819	957,167	131.5
				収 入 計	16,327,652	17,284,819	957,167	5.9
				(支出)				
				管理運営経費	16,240,596	17,243,679	1,003,083	6.2
支 出 計	16,240,596	17,243,679	1,003,083	6.2				
収 支	87,056	41,140	△45,916	△52.7				

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・売店業務を自ら運営することにより、当初の目的である年間 1,600,000 円以上の売上（指定管理料以外の収入）は達成できたが、利益率に関しては、売上 1,684,819 円、仕入 1,413,181 円、利益 271,638 円、利益率 16%と、改善の余地がある。（ただし、震災によるアイス等の処分 60,009 円、売店休業 21 日間及び土、日、休日に開店できなかった影響は大きい。）</li> <li>・出勤時間を開園 30 分前に早め、展望塔などの施設や管理棟の開館準備を早めた。</li> <li>・省エネタイプの自動販売機に変更したことや、こまめな節電により電気代を節約した。</li> <li>・警備会社への通報システムを電話回線からインターネット回線に変更したことで、電話料が縮減された。</li> <li>・平成 22 年度から、ゲンジホテルの里づくり実行委員会と協同主催により、ホテルの鑑賞会を実施したところ、好評だったため、今後も継続イベントとしていく。</li> <li>・笠間芸術の森公園で毎年開催される都市緑化祭に参加し、北山公園動植物の展示を行いPR活動をした。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜まつりのときに咲く花が少ない。 ⇒北山公園のイベントとして毎年植樹祭を実施しており、平成 22 年度は新池周辺に桜の木 8 本を植樹した。</li> <li>・公園パンフレットがない。 ⇒在庫切れであったパンフレットを早急に増刷した。</li> <li>・湿原の手入れが行き届いていない感じがした。 ⇒過去 2 年間で水性植物園の整備をしてきたが、整備完了エリアと未整備エリアの差が大きくなってきたため、今後 5 年間で計画的に整備を行う。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 8 月 18 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟休憩施設の利用者に団体客が増えていることなども踏まえ、ベンチ・テーブルの充実など利用者に対する更なる利便性の向上や利用者のニーズに合わせた売店の品揃えなど、利用者がくつろげる休憩施設となるよう努めること。</li> <li>・イベント活動については、「北山公園桜まつり」「ホテル鑑賞会」「植樹祭」等他団体との交流や組合単独イベントなどを実施しているが、今後もなお一層関係団体と連携し、イベントの充実を図り、来園者及び収益の増加に努めること。</li> <li>・今回の震災では、地震発生直後に館内にいた利用者を施設外へ避難させ、管理棟を閉鎖し、30 分以内に組合員が施設へ集合し、園内の見回り点検及び展望塔、ローラー滑り台等の閉鎖を行うなど迅速な行動ができたことは高く評価できる。今後も災害時対応マニュアルの作成等基本的な行動基準を定めて対応すること。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	北山公園		
施設所在地	笠間市平町1416番地1		
施設概要	主な施設：休憩施設，展望塔，キャンプ場，バーベキュー場，ローラーすべり台，板谷波山口ケセット 管理面積：86,980㎡		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	169,403 人	212,071 人	200,683 人
年間稼動日数	356 日	357 日	356 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	15,600,000	15,600,000	15,600,000
その他収入	392,972	727,652	1,684,819
収入計	15,992,972	16,327,652	17,284,819
人件費	4,971,048	4,949,999	5,312,399
消耗品費	557,328	560,372	863,658
水道光熱費	1,324,761	1,251,204	1,208,980
印刷製本費	0	17,600	73,500
修繕費	211,350	174,500	156,400
通信運搬費	245,792	296,011	221,003
業務委託費	1,447,235	1,546,720	1,853,000
損害保険料	610,340	549,310	545,000
事業費（植物管理）	7,114,775	6,670,163	5,368,100
イベント経費	0	224,717	228,458
北山売店（商品仕入）	0	0	1,413,181
支出計	16,482,629	16,240,596	17,243,679
収支	-489,657	87,056	41,140

<b>施 設 の 名 称</b>	<b>施 設 所 管 課</b>
⑧笠間市いこいの家「はなさか」	社会福祉課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社)笠間市社会福祉協議会 (公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
住民の健康増進や地域の交流など住民の癒しの場として便宜を総合的に供与し、もって福祉の増進を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】			
区 分	21 年度	22 年度	前年度比	区 分	21 年度	22 年度	前年度比
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)
延利用者数	67,732 人 (1日平均230人)	63,489 人 (1日平均223人)	△6.3	(収入)			
				指定管理料	29,550,000	29,550,000	0
				利 用 料	26,930,800	24,967,550	△1,963,250
				売店収入等	7,295,127	7,231,895	△63,232
				その他収入	0	6,901,388	-
				収 入 計	63,775,927	68,650,833	4,874,906
				(支出)			
				管理運営経費	63,801,165	69,838,822	6,037,657
				支 出 計	63,801,165	69,838,822	6,037,657
				収 支	△25,238	△1,187,989	△1,162,751
				※利用料金制度導入 ※平成 22 年度のその他収入は、ボイラー及び浴房の修繕に係る市からの負担金収入。			

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフは、利用者に対し、常に笑顔で対応するよう心がけた。</li> <li>・高齢の利用者が多いことから、「目配り、気配り、心配り」を忘れず、声かけをするなど、利用者の動向に気を付けた。</li> <li>・福祉や医療保健関係の情報コーナーを設置したり、保健師による健康相談を実施したりするなど、利用者のサービス向上を図った。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂利用者から、食事の味についてはよい評価を得たが、値段にやや不満の声があった。 ⇒平成 23 年度からの食堂業者の変更の際には、利用者の声を反映した業者の選定を行った。</li> <li>・施設利用者満足度調査を実施した。(細かい要望等が多数、施設・対応等についてよいとの評価多数) ⇒対応可能な要望等については随時対応し、よい評価を得たところは継続して行った。</li> </ul>

施 設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 5 月 20 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の確保に努め安定した運営をすること。</li> <li>・利用料の増収を図るとともに、入浴以外の部分でも特色を持ち、付加価値をつけた事業に取り組むこと。</li> <li>・安全管理・衛生管理と共に、節電・節水など省エネ対策にも努めること。</li> <li>・東日本大震災においては、避難所として被災者を積極的に受け入れ、地域に密着した施設としての認知度が向上したことは評価できる。今後も、地域住民の福祉の増進を図るため、地域の拠点施設として管理運営に努めること。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間市いこいの家「はなさか」		
施設所在地	笠間市橋爪586番地4		
施設概要	構造・規模：鉄筋コンクリート造一部木造平屋建 敷地面積：11,324㎡ 延床面積：1,373㎡		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	71,435 人	67,732 人	63,489 人
年間稼動日数	295 日	295 日	284 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	37,850,000	29,550,000	29,550,000
利用料	28,443,900	26,930,800	24,967,550
使用料	3,536,775	3,083,607	2,957,925
売店収入	4,078,280	3,612,405	3,675,325
雑収入	757,317	599,115	598,645
負担金収入	1,042,650		6,901,388
借入金収入	730,476		0
収入計	76,439,398	63,775,927	68,650,833
当期商品仕入高	3,191,043	2,645,319	2,733,397
人件費	24,483,978	20,653,054	21,078,957
福利厚生費	27,000	111,460	173,376
消耗品費	3,110,188	3,464,273	3,358,901
器具什器費	0	0	6,353,550
印刷製本費	305,900	157,500	168,000
水道光熱費	15,589,074	13,248,673	13,339,272
燃料費	15,499,907	10,746,294	11,512,887
車輛費	176,862	211,171	230,596
修繕費	1,524,717	413,326	2,075,755
通信運搬費	129,828	116,548	122,187
広報費	0	52,500	53,550
業務委託費	7,603,870	6,582,393	5,731,784
手数料	50,000	0	0
損害保険料	264,710	241,180	198,820
賃借料	1,818,068	1,752,339	1,304,670
租税公課	1,623,013	1,966,499	689,200
諸会費	4,000	4,000	4,000
雑費	0	21,000	7,080
固定資産取得支出	50,000	0	0
社会福祉事業会計繰入金支出	987,240	683,160	702,840
長期運営資金借入償還金支出	0	730,476	0
支出計	76,439,398	63,801,165	69,838,822
収支	0	-25,238	-1,187,989

<b>施 設 の 名 称</b>	<b>施 設 所 管 課</b>
⑨あたご天狗の森スカイロッジ	商工観光課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社) 笠間観光協会 (公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
地域住民及び観光レクリエーションの振興に資すること。	平成 19 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで (平成 16 年 4 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	9,538 人 (1日平均 26人)	9,376 人 (1日平均 25人)	△1.7	(収入)				
				指定管理料	0	0	0	
				利用料・諸収入	30,722,670	30,158,859	△563,811	△1.8
				繰越金	193,029	730,347	537,318	278.4
				収 入 計	30,915,699	30,889,206	26,493	△0.1
				(支出)				
				管理運営経費	30,185,352	30,291,441	106,089	0.4
				支 出 計	30,185,352	30,291,441	106,089	0.4
				収 支	730,347	597,765	△132,582	△18.2
※利用料金制度導入								

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<p>・各種宿泊プランの企画や利用者向けサービスの実施など、稼働率アップに向けた事業展開及び近隣自治体での営業活動をした結果、総売上額が平成 23 年 2 月末時点では、目標額に対し、103.3% (前年比 104.7%) であったが、3 月の東日本大震災の影響でキャンセルが相次いだため、平成 22 年度実績額としては、目標額 (31,285,000 円) に対し 96.3% (30,140,766 円・前年比 98.1%) となった。</p> <p>※実施宿泊プラン及び利用者向けサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あたご山桜まつりプラン (4/1～4/11 : 利用者 127 人)</li> <li>○笠間つつじまつりプラン (4/18～5/5 : 利用者 157 人)</li> <li>○お鍋でぽっかぽかキャンペーン (12/1～12/17, 1/11～3/18 : 実績 73 棟, 564 人)</li> <li>○Xmas プラン (12/18～12/26 : 実績 59 棟, 385 人)</li> <li>○宿泊者向けカブトムシ・クワガタの無料配布 (7 月下旬～8 月中旬)</li> <li>○宿泊者向けゆずプレゼント (11 月中旬～12 月中旬)</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<p>・窓のカーテンは遮光カーテンが良い。 ⇒地域活性化交付金 (きめ細かな交付金) を活用し、全宿泊棟を遮光及び防災カーテンにリニューアルした。</p>

施 設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 7 月 28 日評価通知済
<p>・施設の維持管理・運営が適正に行われた。</p> <p>・震災の影響で、目標額を達成できなかったが、震災時は被害状況をいち早く報告し、管理者できるところは修繕し、営業を再開したことは評価できる。</p> <p>・今後も稼働率アップに向けた新企画や利用者向けサービスの充実及びPR活動などの事業を展開し、目標額達成に向けて営業努力をすること。</p>	

<参考資料>

施設の名称	あたご天狗の森スカイロッジ		
施設所在地	笠間市上郷2775番地7		
施設概要	管理棟【木造286.03㎡】，12人棟（2棟）【木造71.28㎡】，6人棟（4棟）【木造60.40㎡】，4人棟（4棟）【木造47.45㎡】，バーベキュー広場（8基）		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	9,228 人	9,538 人	9,376 人
年間稼動日数	365 日	365 日	365 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用料	28,513,533	30,492,198	29,905,640
諸収入	129,063	230,472	253,219
繰越金		193,029	730,347
収入計	28,642,596	30,915,699	30,889,206
人件費	12,971,836	12,636,260	13,927,721
消耗品費	1,485,087	1,607,019	1,353,411
修繕費	404,816	454,909	653,229
雑費	262,526	298,030	261,128
光熱水費	3,167,570	2,856,572	3,064,254
燃料費	1,155,383	1,297,562	1,352,095
通信運搬費	427,656	487,782	370,391
保険料等	38,761	54,448	4,627
業務委託費	2,898,804	2,999,932	2,975,863
使用料	2,263,599	2,627,089	2,732,160
原材料費	1,507,756	2,292,415	2,126,994
事務手数料	0	500,000	500,000
公課費	800,000	961,000	823,700
旅費	34,570	14,600	1,600
印刷製本費	521,252	808,710	70,770
事業経費	509,951	289,024	73,498
支出計	28,449,567	30,185,352	30,291,441
収支	193,029	730,347	597,765

施設 の 名 称	施設 所 管 課
<b>⑩笠間ラインガルテン</b> (1) 宿泊施設付き市民農園 (5) 炭焼き施設 (2) 日帰り市民農園 (6) 多目的交流施設 (3) クラブハウス (7) その他付随する施設 (4) 農産物加工施設	農政課（農政企画室）
	<b>指 定 管 理 者</b>
	茨城中央農業協同組合（非公募）
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
地域住民と観光農業の振興及び市民と都市住民との交流を図ること。	平成 21 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで （平成 19 年 4 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】			
区 分	21 年度	22 年度	前年度比	区 分	21 年度	22 年度	前年度比
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)
農園利用契約者数	100 人	100 人	0	(収入)			
〔簡易宿泊施設利用者〕	50 人	50 人		指定管理料	0	0	0
〔日帰り農園利用者〕	50 人	50 人		利用料等	21,482,788	21,715,357	232,569
				収 入 計	21,482,788	21,715,357	232,569
クラブハウス利用状況				(支出)			
利用回数	647 回	651 回	0.6	管理運営経費	20,076,138	20,267,163	191,025
延利用者数	10,206 人	11,947 人	17.1	支 出 計	20,076,138	20,267,163	191,025
多目的交流施設利用状況				収 支	1,406,650	1,448,194	41,544
利用回数	-	93 回	-	※利用料金制度導入			
延利用者数	-	272 人	-				

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊施設付き市民農園及び日帰り市民農園とも全区画の利用者を確保することができた。</li> <li>・ 新たに多目的交流施設（トレーラーハウス）3 棟の運営を開始し、利用率向上に努めた。</li> <li>・ 農園利用者と地域住民との交流促進のため、栽培講習会や各種イベント等を年間 101 回開催し、延べ 2,317 人の参加を得た。</li> <li>・ TV1 件、ラジオ 1 件、書籍・情報誌 9 件、インターネット関係 1 件、合計 12 件のマスコミ対応を行い、PR 活動に努めた。</li> <li>・ 視察については、59 件(1,035 人)を受け入れた。</li> <li>・ 麻布十番まつり（東京都港区）に参加し、パンフレット配布・農産物販売を実施し、PR 活動を行った。</li> <li>・ 婚活支援モデル事業（農家の後継者不足や未婚晩婚化の解消支援）を実施した。</li> <li>・ 笠間ラインガルテン 10 周年記念事業を実施した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<p>利用者との意見交換会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺の農地を個人で借用して耕作する場合、農業用機械の園外使用を有料で許可してほしい。 ⇒農業用機械の有料（燃料相当分）での園外使用を実施した。</li> <li>・ 日帰り市民農園 50 区画が一杯で、新たに借りることができない。対応策を検討してほしい。 ⇒H20 年度まで空き区画があったため 1 人で複数区画の利用を許可してきたが、H23 年度から 1 人 2 区画までとし、新規利用を促進する。</li> <li>・ 農業資材や生活物資など J A 取り扱い商品の注文販売を実施してほしい。 ⇒注文表を作成し、注文販売を実施した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 10 月 1 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者との意見交換会における要望等への対処など、利用者の満足度を高めるような運営内容の充実に努めている。今後も意見交換会を定期的実施し、市民農園の利用率 100%を維持すること。</li> <li>・ 施設の修繕において、優先順位をつけて実施するなど適正に執行されている。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間クライנגルテン (農園施設及びクラブハウス並びにそれらに付随する施設)		
施設所在地	笠間市本戸4258番地		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊施設付き市民農園 【50区画】</li> <li>・ 日帰り市民農園 【50区画】</li> <li>・ クラブハウス 【木造平屋 272㎡】</li> <li>・ 農産物加工施設</li> <li>・ 炭焼き施設</li> <li>・ その他付随する施設</li> </ul>		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
農園利用契約者数	99 人	100 人	100 人
年間稼働日数	306 日	311 日	309 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
農園利用料	20,444,300	20,500,000	20,500,000
施設利用料	200,000	187,000	459,492
水光熱使用料	741,701	795,288	632,554
雑収入	0	500	123,311
収入計	21,386,001	21,482,788	21,715,357
人件費	4,958,140	5,463,223	7,677,896
事業イベント費	1,689,494	2,259,833	2,363,383
業務研修費	1,070,217	506,045	413,178
農園管理費	364,853	286,573	225,505
労務管理費	5,424,573	4,971,652	2,161,540
施設備品費	181,827	109,783	154,599
施設修繕費	1,743,471	383,547	2,028,367
施設管理費	5,539,206	5,844,427	4,875,841
車両費	355,708	251,055	303,793
雑費	0	0	63,061
支出計	21,327,489	20,076,138	20,267,163
収支	58,512	1,406,650	1,448,194

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑩笠間クラインガルテン (1)農産物販売所 (2)そば処 (3)その他付随する施設	農政課（農政企画室）
	指 定 管 理 者 茨城中央農業協同組合（非公募）
設 置 目 的	指 定 期 間
地域住民と観光農業の振興及び市民と都市住民との交流を図ること。	平成 21 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 3 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】					
区 分	21 年度	22 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	21 年度	22 年度	前年度比		
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)	
延利用者数	48,093 人 (1日平均155人)	42,229 人 (1日平均137人)	△12.2	(収入)					
				指定管理料	0	0	0		
				販売額等	53,149,581	45,324,602	△7,824,979	△14.7	
				収 入 計	53,149,581	45,324,602	6,081,422	12.9	
				(支出)					
				管理運営経費	54,678,909	46,019,202	5,667,271	11.6	
				支 出 計	54,678,909	46,019,202	5,667,271	11.6	
				収 支	△1,529,328	△694,600	414,151	△54.6	
				※利用料金制度導入					

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<p>&lt;農産物販売所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A管内直売所（みどりの風）との連携により品揃えの充実を図った。</li> <li>・ 感謝祭（特売イベント）を開催し（4, 6, 7, 9, 11, 12 月），集客促進を図った。</li> <li>・ 農協観光との連携による農業体験ツアー（首都圏消費者対象）を開催した。（タケノコ狩り，ジャム作り，ブルーベリー狩り，リンゴ狩り）</li> <li>・ 夏季の猛暑によりイチゴの生育が悪く，観光いちご園の開園が遅れたため，摘み採り客数・イチゴ販売額が減少し，店舗全体の売上げ低下に影響した。</li> </ul> <p>&lt;そば処&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笠間観光協会と連携し「笠間発見伝・そば打ち体験」の受入れを実施した。</li> <li>・ パート1名の退職を期に，1名の人員を削減して運営した。</li> </ul> <p>※以上の取組により，そば処の売上向上，全体での赤字削減につながったものの，3月の震災の影響による3月のイチゴ狩りの団体予約キャンセル等来場者数・売上の低下があった。</p>

利用者の声【利用者の評価について】
<p>&lt;農産物販売所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品揃えが不十分である。 ⇒ J A他店舗の直売所（みどりの風）出荷者への呼びかけにより品揃えの充実に取り組んだ。</li> <li>・ ホテル鑑賞の時期に夜間営業をしてほしい。 ⇒ ホテルの飛翔時期に合わせ，6月～7月の1ヶ月間の週末（金土日）に限り営業時間を午後8時半まで延長した。（そば処についても同じ）</li> </ul> <p>&lt;そば処&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安価なメニューの種類を増やしてほしい。 ⇒ 安価な新メニュー（月見，キツネ，タヌキそば）を追加した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 10 月 1 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物の特売をメインとして定期的にイベントを実施しているものの，事前のPR不足により来客数が伸びない状況が見受けられた。事前の広報活動を計画的に実施し，イベント開催の効果をさらに発揮すること。</li> <li>・ そば処単体では黒字経営に転じ，取組の効果が発揮されているので，ホテル飛翔時期の営業時間の延長など，効果の大きい取組は引き続き実施し健全経営に努めること。</li> </ul>	



施設 の 名 称		施設 所 管 課	
⑪笠間工芸の丘		商工観光課	
		指 定 管 理 者	
		笠間工芸の丘（株）（非公募）	
設 置 目 的		指 定 期 間	
地域住民及び観光レクリエーションの振興に資すること。		平成 18 年 3 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 3 月 1 日から導入開始)	

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	234,950 人 (1日平均757人)	203,800 人 (1日平均661人)	△13.3	(収入)				
				指定管理料	9,500,000	9,500,000	0	0.0
				売 上 高	238,431,402	214,270,863	△24,160,539	△10.1
				収 入 計	247,931,402	223,770,863	△24,160,539	△9.7
				(支出)				
				管理運営経費	243,243,205	231,308,705	△11,934,500	△4.9
				支 出 計	243,243,205	231,308,705	△11,934,500	△4.9
				収 支	4,688,197	△7,537,842	△12,226,039	△260.8
				※収支は、税引前当期損益 ・H21 年度当期利益：3,249,597 円 ・H22 年度当期損失：7,849,542 円 ※利用料金制度導入				

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>笠間市の観光と地場産業の振興を目指した中核施設として、地域の繁栄に貢献するとともに、お客様の期待にも応えられることを目標に、積極的な情報発信と営業活動を展開した。</li> <li>北関東自動車道が東北自動車道と接続したことから、栃木・群馬方面の情報発信を強化した。</li> <li>工芸品を中心にした地場製品の取扱いが高いことから、高額商品の動きが依然として低迷している中、お客様ニーズに応えられる商品構成と独自の品揃え、話題作家の企画展を開催した。</li> <li>新聞・雑誌への宣伝やホームページの活用、学校・福祉施設への出張陶芸体験の取組みや県内の小学校・幼稚園・保育所への案内状送付など、利用者拡大に努めた。</li> <li>地域活性化交付金（きめ細かな交付金）を活用し耐用年数の過ぎた照明設備をLED照明に変更し、省エネの推進に寄与した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>要望及び苦情等は、ファックス及びメールなどで随時受け付ける体制を整えているが、目立った要望等はなかった。（今後は、陶芸教室等対象を絞ったアンケートを実施するなど、よりの確なおお客様のニーズを測る方法を検討する。）</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 8 月 18 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>笠間焼の販売が低迷する中、話題作家の企画展を開催するなど笠間焼の振興に寄与した。</li> <li>植栽管理を指定管理の一環として実施（H20 年度～）したことで、引き続き施設の実情に合わせた管理ができた。</li> </ul>	

事 業 報 告 書

( 第 1 4 期 )

自 平成 22年 4月 1日  
至 平成 23年 3月 31日

笠 間 工 芸 の 丘 株 式 会 社

## 笠間工芸の丘株式会社

第14期 事業報告書（平成22年4月1日より平成23年3月31日まで）

平成10年の創業以来、皆様方の温かいご支援をいただきながら、第14期の決算年度を終了できましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

当会計年度における国内の経済は各国の経済対策の効果もあって、世界規模の金融危機から持ち直しや新興国の経済発展の好影響を受けた動きがみられるものの、円高是正と雇用環境の改善が遅れ、当社にかかわる個人消費部門の落ち込みは続いており、経営環境は依然として厳しい状況になりました。

このような経営環境の下で、首都圏と近距離に位置する県内有数の観光地笠間の中心地に位置し、笠間芸術の森公園や茨城県陶芸美術館が隣接する利点を活かし、「笠間市の中核施設として、笠間工芸の丘建設の趣旨にそって、地場産業と観光の振興を目指し地域産業の繁栄に貢献でき、お客様の期待にも応えられる企業となること。」を目標に、多くの企画展を開催し積極的な情報発信と営業活動を展開いたしました。

来場者数では、春の行楽期からゴールデンウィークの陶炎祭などはほぼ前年並みを確保できたものの、夏以降は猛暑の影響を大きく受け、菊まつりや匠のまつり・お正月の彩初窯市なども開催されましたが、実体経済の影響等から来場者は総じて低調に推移しました。

年間を通した来場者数は、北関東自動車道路が東北自動車道路へ接続した効果はあるものの、3月11日発生 of 東日本大地震による電気・水道設備や鉄道・高速道路の損壊など大きな影響を受け、当施設でも展示商品の破損のほか登り窯の崩壊、受水槽の破損、照明設備の落下、駐車場のひび割れ等、復旧に多額の費用を要する事態が生じました。今期推定来館者数は203,800人(31,150人減少)になりました。

また、消費者行動の多様化や周辺の観光地拠点との競合が激化する中で、新聞・雑誌への広告宣伝やホームページを利用したPR等を行いました。特に北関東自動車道の全線開通をにらんで、群馬・栃木方面への情報発信を強化しました。

陶芸体験では、学校・福祉施設・企業での出張体験を実施したほか、県内の小学校・幼稚園・保育所あてに陶芸体験や校外学習にご利用いただくため、案内状を送付して利用者の拡大に努めました。

なお、体験工房の利用者数は16,173人と前年に比べて1,380人(7.8%)減少い

たしました。

今期の業績は、特に当社は工芸品を中心にした地場産品が主体となっていますので、実体経済状況の悪化の影響を受け高額商品の動きが低迷しました。お客様のニーズに応えられる商品構成と当社独自の品揃え、話題作家の企画展の開催、そして皆様に愛される施設運営を目指して努力いたしましたが、ここ数年の頭打ち傾向と消費の減退が引続き生じています。

売上高は、223,182千円となり、前期の実績を23,486千円(9.5%)減少いたしました。特に東日本大震災が発生した3月は10,000千円を超える減少となりました。

内容は、物販部門全体として前年比23,051千円(14.5%)減少しました。

工房部門では昨年に引き続き、陶芸体験者数の減少が続いており4,338千円(8.9%)と大幅な売上減少となりました。

手数料収入では、芸術の森公園の管理並びに工芸の丘指定管理料(芝生・樹木管理)に、新たに芸森公園インフォメーションセンター運営手数料が加わり、自動販売機販売手数料等とともに収入しました。

売上原価は、83,459千円となりました。原価率は37.4%となり前期の原価率39.8%を下回りました。

したがって、売上総利益は139,723千円となり、前期比で8,676千円(5.8%)減少いたしました。

次に、販売費及び一般管理費は、146,436千円となり、前期に比較して1,903千円(1.3%)増加いたしました。

増加要因は、芸森公園インフォメーションセンター運営費用4,100千円が新たに発生したものです。

なお、笠間市のエコ対応化施策として、昨年末に照明用ハロゲン電球150球がLED電球に交換していただきました。これからの節電効果に期待がもたれます。

営業損失は、6,714千円となり、前期の営業利益3,865千円と比較して大幅に悪化いたしました。

営業外収益及び営業外費用を差し引いた経常損失は、7,538千円となり、法人税等充当額312千円を充当した結果、当期損失は、7,850千円となりました。

東日本大震災の影響を大きく受けた決算になりました。

これらの結果、前期末の繰越利益剰余金17,839,697円は、第~~12~~<sup>13</sup>期定時株主総会の議決に基づく剰余金の配当1,008,000円及び、別途積立金400,000円の利益処分のほか、配当に伴う利益準備金の積立、当期純損益金△7,849,542円を差引し、当期末繰越利益剰余金は8,481,355円となりました。

なお、今期の税負担の状況は、消費税4,649,500円のほか、県民税・市民税合わせて185,000円の合計 4,834,500円となります。

来期も、笠間市の観光振興と地場産業の発展に十分な役割が果たせるよう、従業員一同、一層の努力を傾注してまいり所存でございます。

引続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、第14期の決算書とともにご報告申し上げます。

# 決 算 報 告 書

( 第 1 4 期 )

自 平成 22年 4月 1日  
至 平成 23年 3月 31日

笠 間 工 芸 の 丘 株 式 会 社

貸借対照表

平成 23 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 102,427,969】	【流動負債】	【 12,527,217】
現金及び預金	55,348,945	買掛金	3,826,831
売掛金	10,110,309	未払金	1,643,982
未収収益	35,840	未払費用	3,511,260
商品	34,465,952	未払消費税	817,600
原材料	796,260	預り金	2,635,044
貯蔵品	1,170,763	法人税等充当金	92,500
未収還付法人税等	499,900		
【固定資産】	【 1,209,403】	負債の部合計	12,527,217
(有形固定資産)	( 1,209,403)	純資産の部	
建物付属設備	299,507	【株主資本】	【 91,110,155】
車輛運搬具	3,981	(資本金)	( 20,000,000)
工具器具備品	433,415	資本金	20,000,000
プロンズ像	472,500	(利益剰余金)	( 71,110,155)
		利益準備金	100,800
		別途積立金	75,000,000
		役員退職給与積立金	1,600,000
		自己株式	△14,072,000
		繰越利益剰余金	8,481,355
		純資産の部合計	91,110,155
資産の部合計	103,637,372	負債及び純資産の部合計	103,637,372

損 益 計 算 書

自平成22年4月1日  
至平成23年3月31日

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
売上高（物販）	135,605,231	
売上高（工房）	44,314,976	
売上高（手数料）	42,205,392	
売上高（駐車料）	1,056,577	223,182,176
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	36,050,788	
商品仕入高（物販）	78,470,754	
当期製品製造原価	3,403,906	
合 計	( 117,925,448)	
期末棚卸高	34,465,952	83,459,496
売 上 総 利 益		( 139,722,680)
【販売費及び一般管理費】		146,436,424
営 業 損 失		( 6,713,744)
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	105,608	
雑 収 入	483,079	588,687
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	1,412,785	1,412,785
経 常 損 失		( 7,537,842)
税引前当期損失		( 7,537,842)
法人税等充当額		311,700
当 期 損 失		( 7,849,542)

販売費及び一般管理費

自平成22年4月1日  
至平成23年3月31日

科 目	金 額	円
役員報酬	4,800,000	
給料手当	79,785,753	
退職金	50,000	
雑給	231,090	
法定福利費	8,938,575	
厚生費	2,932,503	
減価償却費	331,946	
賃借料	4,159,821	
修繕費	2,415,159	
消耗品費	2,676,083	
水道光熱費	9,470,655	
旅費交通費	800,819	
手数料	20,441,017	
租税公課	205,915	
交際接待費	885,546	
保険料	1,204,750	
通信費	958,332	
諸会費	920,800	
会議費	112,109	
広告宣伝費	2,233,519	
荷造運賃	350,001	
雑費	2,532,031	
合 計		( 146,436,424)

製 造 原 価 報 告 書

自平成22年4月1日  
至平成23年3月31日

科 目	金	額
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	818,660	
材料仕入（工房）	2,575,663	
小 計	( 3,394,323)	
期末原材料棚卸高	796,260	2,598,063
【外 注 加 工 費】		237,449
【製 造 経 費】		
水道光熱費	434,274	
修繕費	134,120	568,394
総製造費用		( 3,403,906)
当期製品製造原価		( 3,403,906)

## 株主資本等変動計算書

自平成22年4月1日至平成23年3月31日 単位 円

	株主資本										株主資本 合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金					利益剰余金 合計	株主資本 合計	純資産合計			
		利益準備金	別途積立金	その他利益剰余金		繰越利益剰余金						
				役員退給準備金	自己株式							
前期末残高	20,000,000	75,000,000	1,200,000	△14,072,000	△14,072,000	17,839,697	79,967,697	99,967,697	99,967,697	99,967,697		
当期変動額												
別途積立金の積立			400,000				400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	
配当に伴う利益準備金の積立		100,800										
当期純損益金							△7,849,542	△7,849,542	△7,849,542	△7,849,542	△7,849,542	
その他変動事由							△1,408,000	△1,408,000	△1,408,000	△1,408,000	△1,408,000	
当期変動額合計		100,800	400,000				△9,358,342	△8,857,542	△8,857,542	△8,857,542	△8,857,542	
当期末残高	20,000,000	75,000,000	1,600,000	△14,072,000	△14,072,000	8,481,355	71,110,155	91,110,155	91,110,155	91,110,155		

# 監 査 報 告 書

平成 23 年 5 月 24 日

笠間工芸の丘株式会社  
代表取締役 友 部 正 孝 様

監査役 永 山 義 和 

私、監査役は、平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの第 14 期営業年度の貸借対照表、損益計算書、事業報告書、株主資本等変動計算書、当期末繰越利益剰余金の積立金繰り入れなど、関係書類を監査した結果、適法かつ正確であると認めます。

以 上

以上のとおりご報告申し上げます。

平成23年 6月10日

笠間工芸の丘株式会社

代表取締役

友部正孝

取締役

岡井俊博

取締役

中野剛弘

取締役

赤津 征

# 事業計画書

( 第 1 5 期 )

自 平成 23年 4月 1日  
至 平成 24年 3月31日

笠間工芸の丘株式会社

## 第 15 期 事 業 計 画 に つ い て

第15期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の事業計画は、次のとおり策定いたしました。

笠間市の観光と地場産業の振興と情報発信を目指して、市の第3セクターとしてスタートした「笠間工芸の丘」も、営業開始以来14年目を迎え、笠間芸術の森公園に隣接する「茨城県陶芸美術館」「県窯業指導所」と共に、笠間観光の中核施設として評価され、既に268万人を超えるお客様をお迎えして役割を果たしてまいりました。

さて、国内の景況は金融危機による信用不安の拡大から生じた世界規模の経済危機も、各国の景気対策の効果と新興国などの経済成長もあって、外需型産業を中心に回復の傾向が表れ始めています。

しかし、円高が是正されないことから設備投資や雇用の回復は進まず、加えて、中東情勢や政治の混迷もあって消費者心理への悪影響が引き続き懸念されます。

加えて、3月11日に発生した東日本大震災の被害の大きさと、原子力発電所事故の推移など、今後の復興対策や風評被害の収束など計り知れない大きな課題が残されており、その影響も非常に大きなものと予想されます。

このような状況下ではありますが、新年も笠間市の中核施設として情報を発信し、地場産業と観光の振興を目指すと共に地域社会の繁栄に貢献でき、お客様の期待にも応えられる企業となれますよう、社員一丸となって積極的に対応してまいります。

当期計画は、売上高目標(消費税込み)を 250,000千円(前年比93.7%)と設定いたしました。

(当期稼働日数を300日とすれば、一日あたりの平均売上高は 833千円となります。)

部門別の売上高計画は、下記のとおりとなります。

区 分	売上計画額	構 成 比	前年比増減(△)額
物 販 部 門	81,300千円	32.5%	△8,700千円
工 房 部 門	49,800千円	19.9%	△5,390千円
カ フ ェ 部 門	38,514千円	15.4%	△3,986千円
作家展示室部門	31,600千円	12.6%	△3,400千円
企画展部門	7,200千円	2.9%	△740千円
管 理 部 門	35,886千円	14.4%	5,386千円

そ の 他	5,700千円	2.3%	△20千円
合 計	250,000千円	100.0%	△16,850千円

売上高に伴う原価は、96,351千円(原価率45.0%見込み)を計上いたしました。従って、粗利益として153,649千円を予想しています。

次に、販売管理費につきましては、給与・賃金・福利厚生費等の人件費のほか、広告宣伝費や光熱水費等の施設管理経費など147,649千円を想定しています。

以上の結果、第15期の利益予想は、諸税調整前で6,000千円を見込みます。

東日本大震災の影響が最小限に収められ目的が達成できますよう、従業員一同一層の努力を傾注して取組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

施設 の 名 称		施設 所 管 課	
⑫笠間市営笠間駅北口自転車駐車場		市民活動課	
⑬笠間駅北口駐車場		指 定 管 理 者	
		(社) 笠間観光協会 (非公募)	
設 置 目 的		指 定 期 間	
⑫駅周辺環境整備を図るとともに、自転車利用者の利便に資すること。		平成22年4月1日から平成27年3月31日まで	
⑬市民及び観光客の利便に資すること。		(平成19年4月1日から導入開始)	

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21年度	22年度	前年度比	区 分	21年度	22年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
利用台数				(収入)				
自動車				指定管理料	2,908,500	2,908,500	0	0.0
月極(延)	547台	470台	△14.1	収 入 計	2,908,500	2,908,500	0	0.0
一 時	3,673台	3,329台	△9.4	(支出)				
自転車				管理運営経費	2,908,500	2,908,500	0	0.0
月極(延)	1,927台	1,898台	△1.5	支 出 計	2,908,500	2,908,500	0	0.0
一 時	7,047台	7,217台	2.4	収 支	0	0	0	0.0
オートバイ				市の収支 (利用料金制度未導入より利用料は市の収入)				
月極(延)	79台	83台	5.1	(収入)				
一 時	332台	225台	△32.2	利 用 料	8,001,000	7,450,050	△550,950	△6.9
				(支出)				
				指定管理料	2,908,500	2,908,500	0	0.0
				収 支	5,092,500	4,541,550	△550,950	△10.8

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
・指定管理に関する協定に基づき、施設の維持管理、利用料金の徴収業務を適正に行った。

利用者の声【利用者の評価について】
・係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが、苦情、要望については特になかった。

施設 所 管 課 の 総 評	平成23年4月28日評価通知済
・業務内容に基づき適正に業務を遂行している。	



施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑭笠間市営稲田駅前自転車駐車場 ⑮稲田駅前駐車場 ⑯福原駅前駐車場	市民活動課
	指 定 管 理 者
	J R O B 会 (非公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
⑭駅周辺の環境整備を図るとともに、自転車利用者の利便に資すること。 ⑮⑯市民及び観光客の利便に資すること。	平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで (平成 19 年 4 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】					
区 分	21 年度	22 年度	前年度比	区 分	21 年度	22 年度	前年度比		
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)	
利用台数 【稲田駅】 自動車	月極(延)	122 台	166 台	36.1	(収入)				
	一 時	2,890 台	2,720 台		△5.9	指定管理料	2,866,500	2,866,500	0
自転車	月極(延)	187 台	143 台	△23.5	収 入 計	2,866,500	2,866,500	0	0.0
	一 時	914 台	818 台		△10.5	(支出)			
オートバイ	月極(延)	19 台	14 台	△26.3	管理運営経費	2,866,500	2,866,500	0	0.0
	一 時	70 台	53 台		△24.3	支 出 計	2,866,500	2,866,500	0
【福原駅】 自動車	月極(延)	82 台	50 台	△39.0	収 支	0	0	0	0.0
	一 時	4,843 台	5,650 台		16.7	市の収支 (利用料金制度未導入より利用料は市の収入)			
					(収入)				
					利 用 料	2,862,070	2,573,760	△255,020	△8.9
					(支出)				
					指定管理料	2,866,500	2,866,500	0	0.0
					収 支	△4,430	△292,740	△288,310	△6708.1

#### 指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

- ・指定管理に関する協定に基づき、施設の維持管理、利用料金の徴収業務を適正に行った。

#### 利用者の声【利用者の評価について】

- ・係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが、苦情、要望については特になかった。

#### 施設所管課の総評

平成 23 年 4 月 28 日評価通知済

- ・業務内容に基づき適正に業務を遂行している。



施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑰笠間市障害福祉センターともべ	社会福祉課
	指 定 管 理 者
	(社)笠間市社会福祉協議会 (非公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
市内に居住する心身障害者社会参加を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
利用者数 (年度末現在)	20 人	19 人	△5.0	(収入)				
延利用者数	3,674 人	3,860 人	5.1	指定管理料	18,163,800	19,620,000	1,456,200	5.4
				参加費	38,400	38,200	△200	△0.5
				その他収入		1,000,000	-	-
				収 入 計	18,202,200	20,658,200	2,456,000	13.5
				(支出)				
				管理運営経費	18,202,200	20,658,200	2,456,000	13.5
				支 出 計	18,202,200	20,658,200	2,456,000	13.5
				収 支	0	0	0	

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者である障害者は、歳月を経ると心身上変化していくため、対応に難しい面はあるが、市と連携を図りつつ、保護者の意思を尊重しながら業務に当たった。</li> <li>・作業訓練(空き缶回収、珍味・ボールペン等梱包作業、チラシ袋入れ、クッキー・花壇作り等)を障害レベルに応じた流れ作業で実施した。</li> <li>・生活訓練(日直・清掃当番、調理実習、買い物学習、屋外研修、習字、生花、茶道、陶芸、ミュージックケア等)を日々の繰り返しにより実施した。</li> <li>・行事、レクリエーション等(各種団体との交流会、ふれあい親子旅行、果物狩り、味噌作り、市の行事参加等)を行い、季節感のある行事と地域交流をとおして社会性を高めた。</li> <li>・健康指導(住民健診、保健師・栄養士指導、歯科指導、体操等)を行った。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を実施し、保護者との連絡を密にすることで、相談などに対して随時適切に対応した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 5 月 20 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の社会参加の場所として、生活訓練・生産活動などを行う福祉的就労の場として、実績がある。</li> <li>・通所している障害者に対し相談などの支援も行い、障害者の地域生活を支えていくうえで、重要な役割を果たしている。</li> <li>・業務実績に基づき指定管理料の減額協定をするなど、経費の削減に努めている。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間市障害者福祉センターともべ		
施設所在地	笠間市美原三丁目2番11号		
施設概要	設備：作業所・便所・洗面設備・多目的室など 面積：180㎡		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	3,885 人	3,674 人	3,860 人
年間稼働日数	238 日	233 日	233 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	19,195,256	18,163,800	19,620,000
参加費収入	51,600	38,400	38,200
その他収入	0	0	1,000,000
収入計	19,246,856	18,202,200	20,658,200
人件費	16,474,941	15,801,646	17,042,829
福利厚生費	60,000	60,000	60,000
旅費	50,500	58,150	48,000
研修費	24,000	23,000	24,516
消耗品費	723,607	226,587	285,629
器具什器費	0	0	999,600
通信運搬費	20,000	15,000	12,000
業務委託費	0	54,453	60,000
諸謝礼	13,000	60,000	62,000
水道光熱費	557,317	491,076	618,490
車両費	21,998	70,866	6,300
燃料費	24,350	25,212	72,388
修繕費	0	100,280	172,600
会議費	21,235	56,236	57,027
損害保険料	125,024	128,990	134,644
賃貸料	21,698	30,698	30,198
租税公課	20,000	78,900	1,000
保健衛生費	0	17,652	7,644
教育指導費	320,466	248,374	209,495
退職金積立事業経理区分間繰入金支出	768,720	655,080	753,840
支出計	19,246,856	18,202,200	20,658,200
収支	0	0	0

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑱笠間市地域福祉センター 「笠間市友部社会福社会館」	社会福祉課
	指 定 管 理 者
	(社)笠間市社会福祉協議会 (公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた活動、福祉情報の提供等を総合的に行い、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	27,872 人 (1日平均81人)	27,752 人 (1日平均78人)	△0.4	(収入)				
				指定管理料	23,371,000	22,865,000	△506,000	△2.2
				収 入 計	23,371,000	22,865,000	△506,000	△2.2
				(支出)				
				管理運営経費	23,371,000	22,865,000	△506,000	△2.2
				支 出 計	23,371,000	22,865,000	△506,000	△2.2
				収 支	0	0	0	0

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年 9 月より土曜、日曜に加え祝祭日を開館し、年間をとおして市民が利用できる体制を整えた。 (1 月 1 日～3 日は休館)</li> <li>一般の利用者に対し、会議室等としての施設の利用許可、ボランティアの活動拠点としての場の提供等施設を有効に活用するとともに、デイサービス業務を実施し、地域住民の福祉の増進を図った。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>細かい要望等にたいしては随時対応をしているが、会議室等としての施設の利用希望が多く、部屋の予約がなかなか取れない状況があるため、不満の声がある。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 5 月 20 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉活動の拠点として、適切に運営及び維持管理されており、利用者をはじめ地域住民サービスの向上が図られている。</li> <li>不審者に対してのマニュアルが作成されていないので、作成すること。</li> <li>東日本大震災においては、避難所として被災者を積極的に受け入れ、地域福祉施設としての認知度が向上したことは評価できる。</li> <li>アンケート調査の実施方法を見直し、利用者の声を聞いて管理運営をすること。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間市地域福祉センター 「笠間市友部社会福祉会館」		
施設所在地	笠間市美原三丁目2番11号		
施設概要	構造・規模：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積：1,432.30㎡		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	27,269 人	27,872 人	27,752 人
年間稼動日数	344 日	344 日	354 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	18,637,000	23,371,000	22,865,000
収入計	18,637,000	23,371,000	22,865,000
人件費	7,022,274	11,141,752	10,969,951
福利厚生費	15,000	30,000	30,000
消耗品費	625,912	661,863	701,608
水道光熱費	4,146,787	3,566,075	3,541,693
燃料費	4,000	300,000	0
修繕費	1,765,102	2,521,954	2,040,359
通信運搬費	202,503	215,702	232,621
業務委託費	3,325,878	3,357,231	3,508,660
損害保険料	112,000	114,000	114,000
賃借料	390,918	607,304	605,414
租税公課	687,026	209,239	401,014
諸会費	0	4,000	4,000
退職金積立事業経理区分間繰入金支出	339,600	641,880	715,680
支出計	18,637,000	23,371,000	22,865,000
収支	0	0	0

<b>施設 の 名 称</b>	<b>施設 所 管 課</b>
⑱笠間市障害者福祉センターいわま	岩間支所福祉課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社)笠間市社会福祉協議会 (非公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
障害者の生活訓練，作業訓練，機能訓練，相談事業を通し，将来に向けて障害者の就労意欲の向上及び社会参加の促進に寄与すること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
利用者数 (年度末現在)	7 人	8 人	14.3	(収入)				
延利用者数	1,146 人	1,293 人	12.8	指定管理料	5,667,643	6,584,000	916,357	16.2
				収 入 計	5,667,643	6,584,000	916,357	16.2
				(支出)				
				管理運営経費	5,667,643	6,584,000	916,357	16.2
				支 出 計	5,667,643	6,584,000	916,357	16.2
				収 支	0	0	0	
※平成 21 年度は職員の育児休業に伴い欠員が出ている (欠員は社協職員やボランティアで対応)								

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>作業訓練(フルーツキャップ梱包，空き缶回収，電気部品組立作業，プラスチック製品のバリ取り，取扱説明書折り，野菜・花壇作り等)を実施した。</li> <li>生活訓練(日直当番，清掃，調理実習，買い物学習，屋外研修，ムーブメント等)を実施した。</li> <li>行事，レクリエーション等(各種団体との交流会，ふれあい研修，スポーツレクリエーション，映画鑑賞，忘年会，果物狩り，ミュージックケア，市・県の行事参加等)を実施した。</li> <li>年間をとおしてコンスタントにフルーツキャップ作業の依頼があり，毎月利用者に平均した給料を支給できた。(その他，各種企業からも年に数回作業依頼あり)</li> <li>景気の影響等から，障害者の就職先が見つからない状況が続いた。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との連絡を密にすることで，相談などに対して随時適切に対応した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 7 月 27 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者の引きこもりの防止，日常生活の改善，社会参加に向けた訓練等，多くの成果があることから，今後も継続して，適正な運営を実施して行くこと。</li> <li>引きこもりがちになっている障害者及び家族に対し，事業の周知に努め，利用者の増員を図ること。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間市障害者福祉センターいわま		
施設所在地	笠間市下郷5139-1		
施設概要	鉄筋コンクリート造り延床面積347.83㎡ (福祉センター専用部分283㎡：共用部分65㎡) 集会室，図書館作業訓練室，相談室，事務室，和室等		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	7(年度末利用者数)人	1,146人	1,293人
年間稼動日数	236日	227日	228日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	6,665,114	5,667,643	6,584,000
収入計	6,665,114	5,667,643	6,584,000
人件費	5,622,123	4,626,747	5,392,839
福利厚生費	30,000	10,646	30,000
研修費	0	1,650	1,000
旅費交通費	1,200	0	0
諸謝金	0	5,000	8,000
消耗品費	80,742	120,064	152,861
器具什器費	0	0	111,100
通信運搬費	0	8,000	8,000
業務委託費	44,431	75,510	50,050
手数料	0	0	630
車両費	97,930	21,000	50,925
燃料費	57,748	41,529	47,527
修繕費	75,600	0	0
損害保険料	119,000	93,080	109,610
賃借料	66,319	149,291	148,084
租税公課	50,950	20,000	31,800
教育指導費	152,431	224,526	167,374
退職金積立事業経理区分間繰入金支出	266,640	270,600	274,200
支出計	6,665,114	5,667,643	6,584,000
収支	0	0	0

<b>施設 の 名 称</b>	<b>施設 所 管 課</b>
⑳笠間市福祉センター「いわま」	岩間支所福祉課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社)笠間市社会福祉協議会 (公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
高齢者の各種相談に応ずると共に健康の増進教養の向上及びレクリエーション等の便宜を総合的に供与し、健康で明るい生活を営ませ、伴わせて地域福祉の向上を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	21 年度	22 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	21 年度	22 年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	6,016 人 (1日平均 26人)	5,790 人 (1日平均 27人)	△3.8	(収入)				
				指定管理料	10,208,183	10,580,000	371,817	3.6
				利用料等	1,088,602	1,142,374	53,772	4.9
				収 入 計	11,296,785	11,722,374	425,589	3.8
				(支出)				
				管理運営経費	11,296,785	11,722,374	425,589	3.8
				支 出 計	11,296,785	11,722,374	425,589	3.8
収 支	0	0	0					
※利用料金制度導入								

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者減の主な要因は、震災の影響で、配食 2 回、いきいき交流通所事業 5 回、一般開放 2 回、ゆかいふれあいセンター送迎 2 回をそれぞれ中止としたことが、利用者の減少の主な要因となった。</li> <li>・毎週木曜日の一般開放について、10 月より手打ちそばの提供を開始したことにより、85 名の利用があり、利用者増となった。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時要望・苦情等を受け付けているが、特になかった。</li> <li>・一般開放日に実施した手打ちそばの評判が良かった。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 23 年 7 月 27 日評価通知済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般開放日の手打ちそばの提供は、今後、利用者の評判や利用者数等の動向と、予算との関係を見ながら推進して行くこと。</li> <li>・震災時は、幸いに利用者が退館しており利用者及び管理者に怪我人が出なかったが、避難誘導の再確認等を実施し、今後も安全管理に努めて行くこと。</li> <li>・介護予防を図るため、引き続き利用者増となる事業を進めること。</li> </ul>	

<参考資料>

施設の名称	笠間市福祉センター「いわま」		
施設所在地	笠間市泉159番地		
施設概要	昭和52年6月竣工，構造：鉄筋コンクリート造り，敷地面積5,500㎡，延床面積603.7㎡ 施設設備内容：事務室，相談室，機能訓練室，娯楽室，調理室，浴室，ボイラー等		
運営状況			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
延利用者数	6,432 人	6,016 人	5,790 人
年間稼動日数	223 日	226 日	214 日
事業収支詳細 (単位：円)			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指定管理料	10,546,000	10,208,183	10,580,000
利用料	1,156,400	1,081,600	1,118,750
雑収入	10,656	7,002	23,624
収入計	11,713,056	11,296,785	11,722,374
人件費	4,525,929	4,954,289	4,837,212
福利厚生費	11,200	0	45,000
消耗品費	491,967	269,903	467,647
器具什器費	0	0	293,500
通信運搬費	133,128	123,921	117,671
業務委託費	3,653,766	2,611,471	2,666,065
水道光熱費	1,705,591	1,579,720	1,806,745
車両費	0	523,265	229,999
燃料費	401,676	425,680	465,395
修繕費	249,844	19,454	283,749
手数料	0	25,000	525
損害保険料	0	47,970	60,530
賃借料	99,852	122,049	49,926
租税公課	35,936	144,093	-9,280
諸会費	7,000	0	32,000
保健衛生費	35,965	33,600	65,100
教養娯楽費	49,770	49,770	49,770
日用品費	23,512	0	0
経理区分繰入金支出	287,920	366,600	260,820
支出計	11,713,056	11,296,785	11,722,374
収支	0	0	0